

臨床工学部 保守管理センター

西村 哲

保守管理センターについて

保守管理センターは、今年5月に1名追加となり計5名の臨床工学技士が365日体制で保守管理業務及び医療ガス管理業務を行っています。新たに障害者雇用と学生アルバイトを採用し、業務の効率化、生産性の向上をはかり、完全分業制のシステムを導入することができました。

保守管理業務について

<業務内容>

- ・ 日常、定期点検業務
- ・ トラブル時対応
- ・ 修理業務
- ・ 部品、消耗品管理業務
- ・ 人工呼吸器管理（一般病棟・外来）
- ・ モニタアラームラウンド

<管理中の医療機器>

- ・ 輸液ポンプ
- ・ シリンジポンプ
- ・ 下肢血栓予防装置
- ・ 栄養ポンプ
- ・ 人工呼吸器
- ・ 心電図モニタ
- ・ 低圧持続吸引器
- ・ 除細動器
- ・ 血液ガス分析装置など

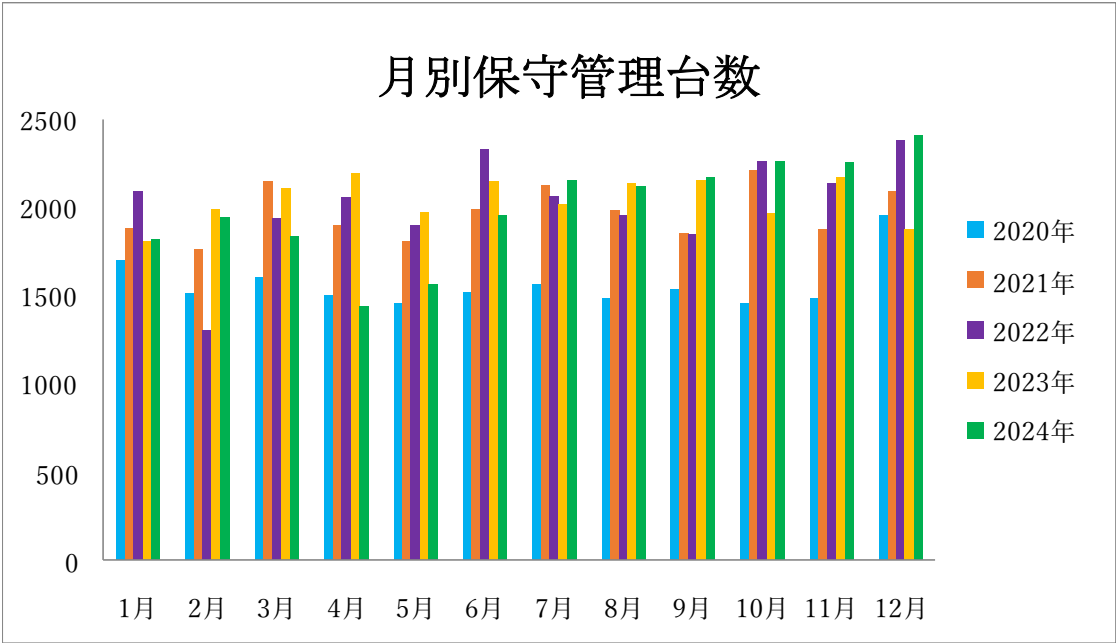
医療ガス設備管理業務について

<業務内容>

- ・ 日常点検、定期点検
- ・ トラブル時対応
- ・ 修理業務
- ・ 院内勉強会

<2024 年業務実績>

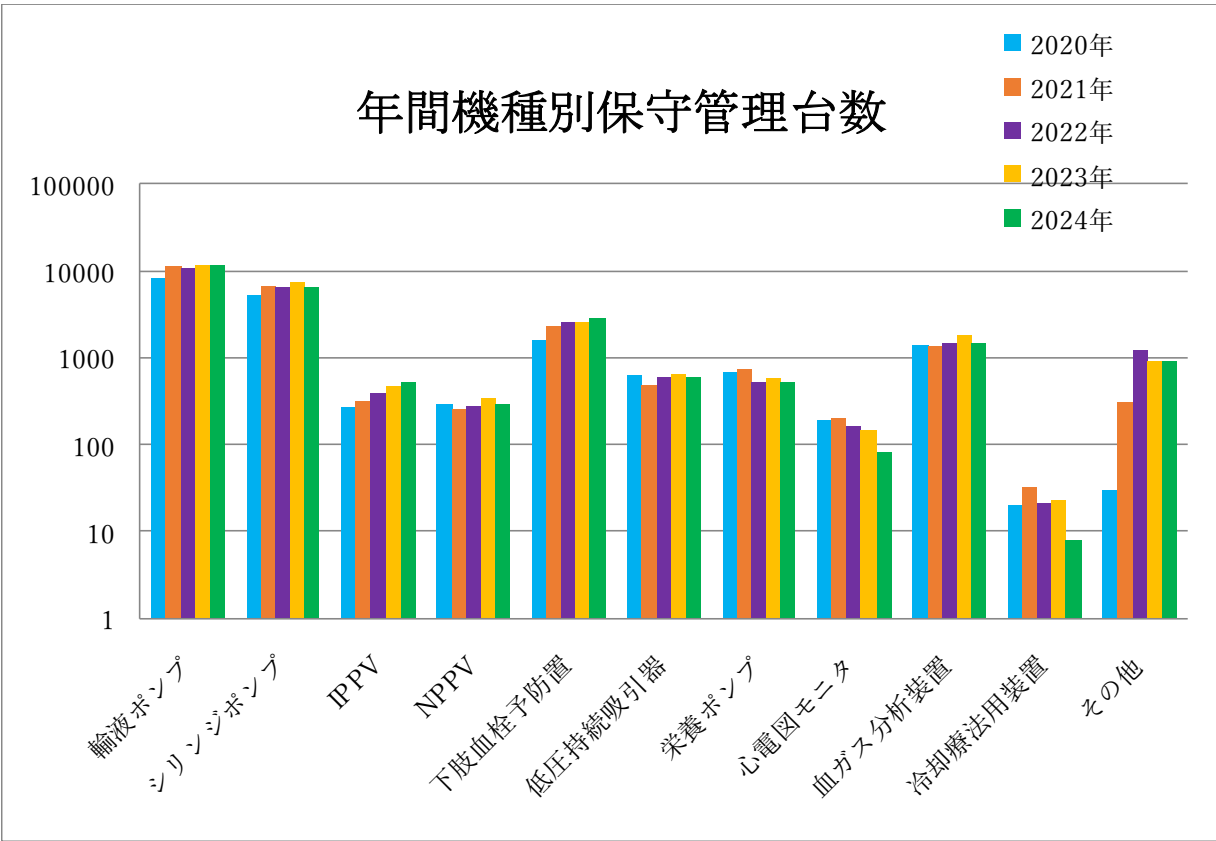
(グラフ 1) 月別保守管理台数(単位：台数)



(表 1) 月別保守管理台数(単位：台数)

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
2020 年	1698	1512	1599	1503	1454	1517	1565	1485	1537	1458	1480	1955	18763
2021 年	1880	1767	2143	1901	1811	1989	2128	1984	1856	2212	1873	2092	23636
2022 年	2091	1302	1938	2052	1899	2327	2067	1952	1841	2264	2136	2384	24253
2023 年	1813	1987	2111	2191	1976	2141	2017	2137	2150	1959	2169	1869	24520
2024 年	1821	1945	1835	1438	1566	1950	2151	2118	2171	2260	2254	2407	23916

(グラフ 2) 年間機種別保守管理台数(単位：台数)



(表 2) 年間機種別保守管理台数(単位：台数)

	輸液	シリンジ	IPPV	NPPV	下肢血栓予防置	低圧持続吸引器
2020 年	8363	5288	272	285	1602	626
2021 年	11025	6591	314	255	2316	493
2022 年	10602	6488	390	278	2541	589
2023 年	11560	7259	464	346	2486	643
2024 年	11623	6570	529	297	2869	586

栄養ポンプ	心電図モニター	血ガス分析装置	冷却療法用装置	その他	合計
669	187	1421	20	30	18763
753	199	1356	32	302	23636
531	161	1446	21	1206	24253
576	150	1792	23	933	26232
530	81	1484	8	925	25502

＜在宅呼吸器取扱い方法、血液ガス分析装置 勉強会＞

日時	場所	対象者
7 月 18 日	管理棟 3 階	新人看護師
11 月 5 日	北館 7 階リハ室	理学療法士
11 月 6 日	5B 病棟	看護師
11 月 7 日	北 4 病棟	看護師
11 月 7 日	7A 病棟	看護師
11 月 11 日	透析室	看護師・臨床工学技士
11 月 12 日	ICU 病棟	看護師
11 月 12 日	6B 東病棟	看護師
11 月 12 日	6B 西病棟	看護師
11 月 19 日	8A 病棟	看護師
11 月 21 日	救命病棟	看護師
11 月 21 日	北 5・6 病棟	看護師
11 月 22 日	5C 病棟	看護師
11 月 25 日	HCU 病棟	看護師
11 月 25 日	6A 病棟	看護師
11 月 26 日	ER	看護師
11 月 27 日	メンタル 5 病棟	看護師
11 月 27 日	メンタル 4 病棟	看護師

2024 年総括

今年度は、医療機器管理システムの導入、院内の人工呼吸器装着患者の管理、モニタアラームラウンドを実施するなど、新たな取り組みも積極的に行いました。

医療機器管理システムを 8 月から導入し、保守点検、修理、貸出しなどを一元管理でき、業務の効率化を図りました。人工呼吸器管理は、12 月から毎日病棟におもむきアラームレポートの確認を行うことで患者さんや病棟スタッフの呼吸器管理を支援しました。

モニタラウンドは 12 月から毎日実施し、アラーム低減に取り組みました。

また、4 月より学生アルバイトを開始し、土日祝の点検、病棟ラウンド業務を実施することで安定的な業務運営につながりました。

今年度に掲げていた目標を概ね達成することができました。

2025 年の目標

- ・病棟管理の医療機器の管理強化
- ・医療機器管理システムを活用した医療機器の管理体制強化